

8 環境に及ぼす影響の内容及び程度並びにその評価

8.5 地盤

8.5 地盤

8.5.1 現況調査結果

8.5.1.1 調査地域

ボーリング調査及び地下水位調査地点の位置は、図8.5-1に示すとおりである。

8.5.1.2 地質、地質構造等の状況

計画地内のボーリング柱状図は、図8.5-2(1)～図8.5-5(4)に示すとおりである。

また、既存北清掃工場建設時の環境影響評価において調査した地質柱状図は、図8.5-6(1)及び(2)に示すとおりである。

8.5.1.3 地下水位の変化の状況

計画地内の観測井における不圧地下水位の調査結果は表8.5-1(1)及び(2)に、被圧地下水位の調査結果は表8.5-2(1)及び(2)に示すとおりである。

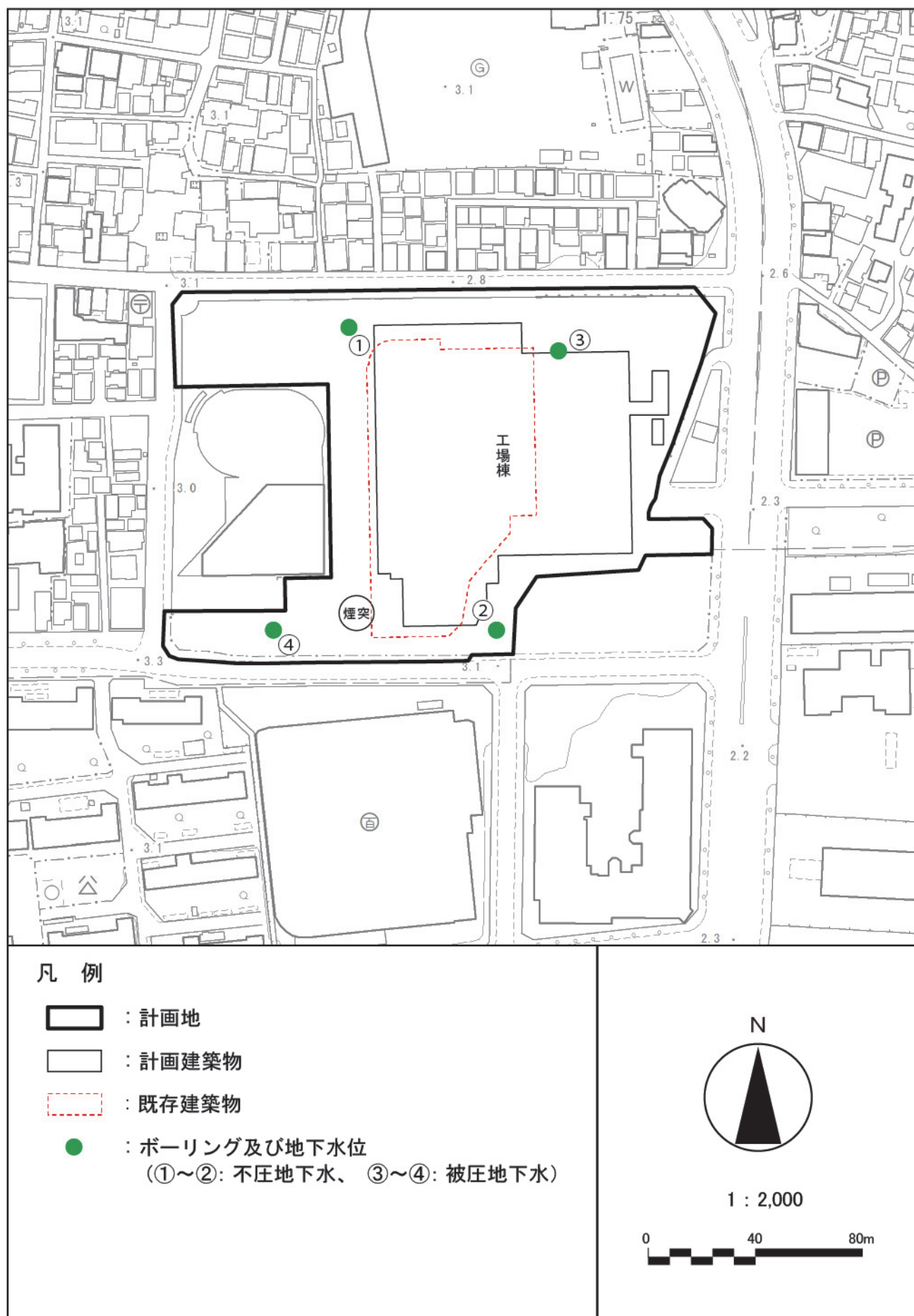


図 8.5-1 ボーリング調査及び地下水位調査地点図

ボーリング名	地点① (NW)		調査位置	東京都北区志茂一丁目2-36		北緯35°46'34.3"	
発注機関	東京二十三区清掃一部事務組合			調査期間 平成29年7月4日～29年7月12日		東経139°43'53.4"	
調査業者名	株式会社 日建技術コンサルタンツ 電話 (03-3349-8901)	主任技師 原 弘 泰		現場代理人 堀 善 雄	アコ鑑定者 小山 毅	ボーリング責任者 後藤 仁	
孔口標高	A.P. = 3.86m	方角 180°上 90°下 270°西 90°東 北 0° 南 180°		地盤勾配 鉛直 90° 水平 0°		使用機種 ハンマー落下用具	
総掘進長	65.41m	度		エンジン製 NFD10型		東邦地下工機製 BG-4型	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相對稠度	相對密度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験						原位置試験		試料採取 試験番号	室内試験 ()	掘進月日
											10cmごとの打撃回数			打撃回数 / 貫入量 (cm)	深度 (m)	試験名および結果 ()	深度 (m)				
											0	10	20								
1									深度0.00~0.05m、アスファルト、深度0.05~1.20m、礫・コンクリート片、木片を混入する埋土。	7/5 2011	50	1	1500								
2									深度1.20~2.00m、コンクリート片、木片を混入する埋土。		12	15	23	50							
3	0.76	3.10	3.10		埋土	褐灰			深度2.00~3.10m、礫・コンクリート片、木片を混入する埋土。		2	1	1	4							
4					目礫混りシルト質細砂	暗灰	緩い		目礫混りの細砂からなる。 含水多い。 粒後不均一。 全体にシルトを混入する。 水位観測孔の有孔区間は深度3.00~5.00m。		3.15	18	8	6	32		3.15	物理			
5	-0.94	1.70	4.80		砂						1	1	2	2			3.47				
6					砂質シルト	暗灰	非常に軟らかい				4.15	22	18	40			4.15	物理			
7	-2.84	1.90	6.70								5.15	1	1	2	48		4.55				
8											5.63	23	25	25	50						
9											6.15	1	1	2	50						
10											6.65	25	25	50							
											7.15										
												ハンマー	自沈	50	0						
											7.65										
											8.15										
												ハンマー	自沈	50	0						
											8.65										
											9.15										
												ハンマー	自沈	50	0						
											9.65										

図 8.5-2(1) ボーリング柱状図 (地点①)

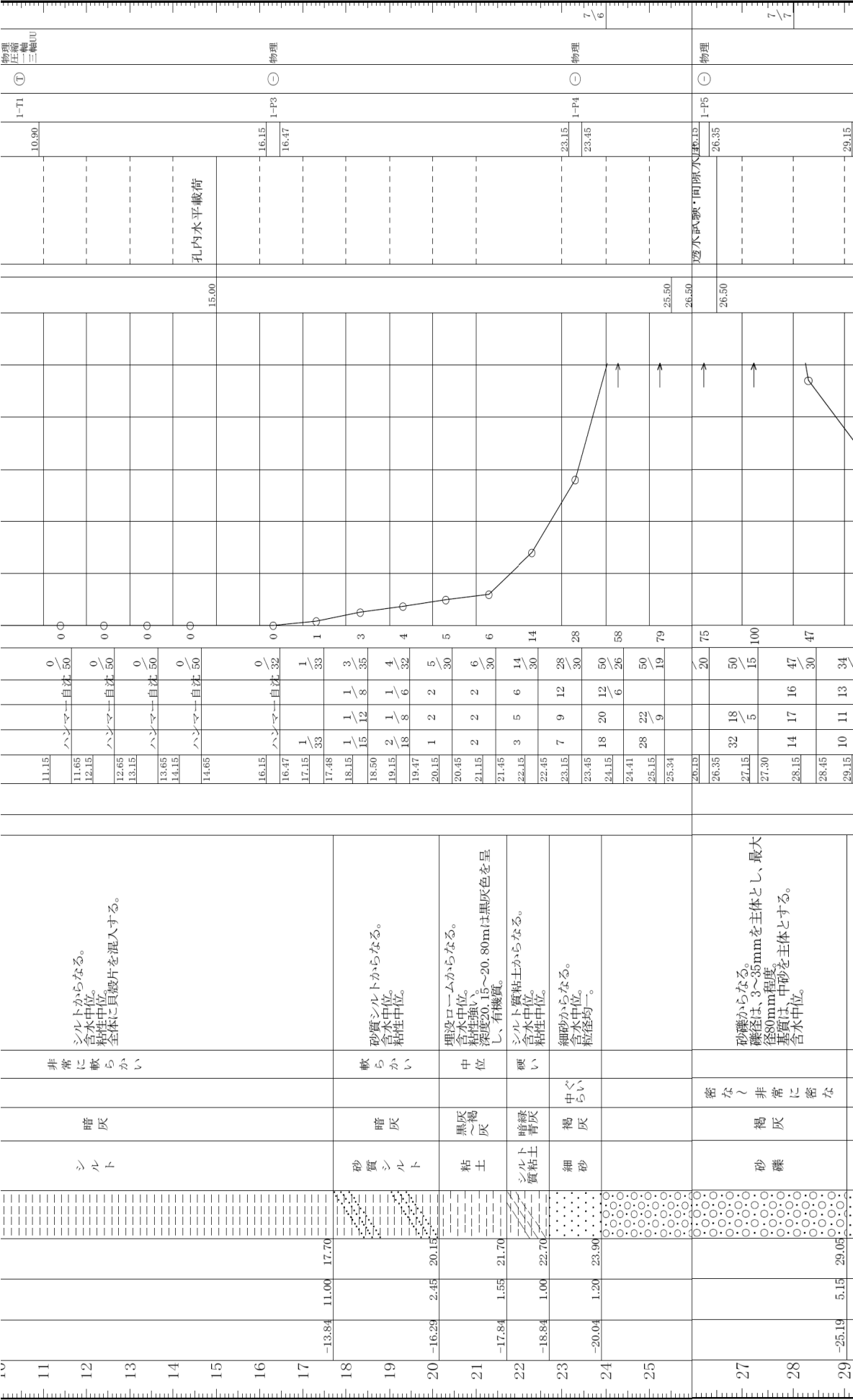


図 8.5-2(2) ボーリング柱状図（地点①）

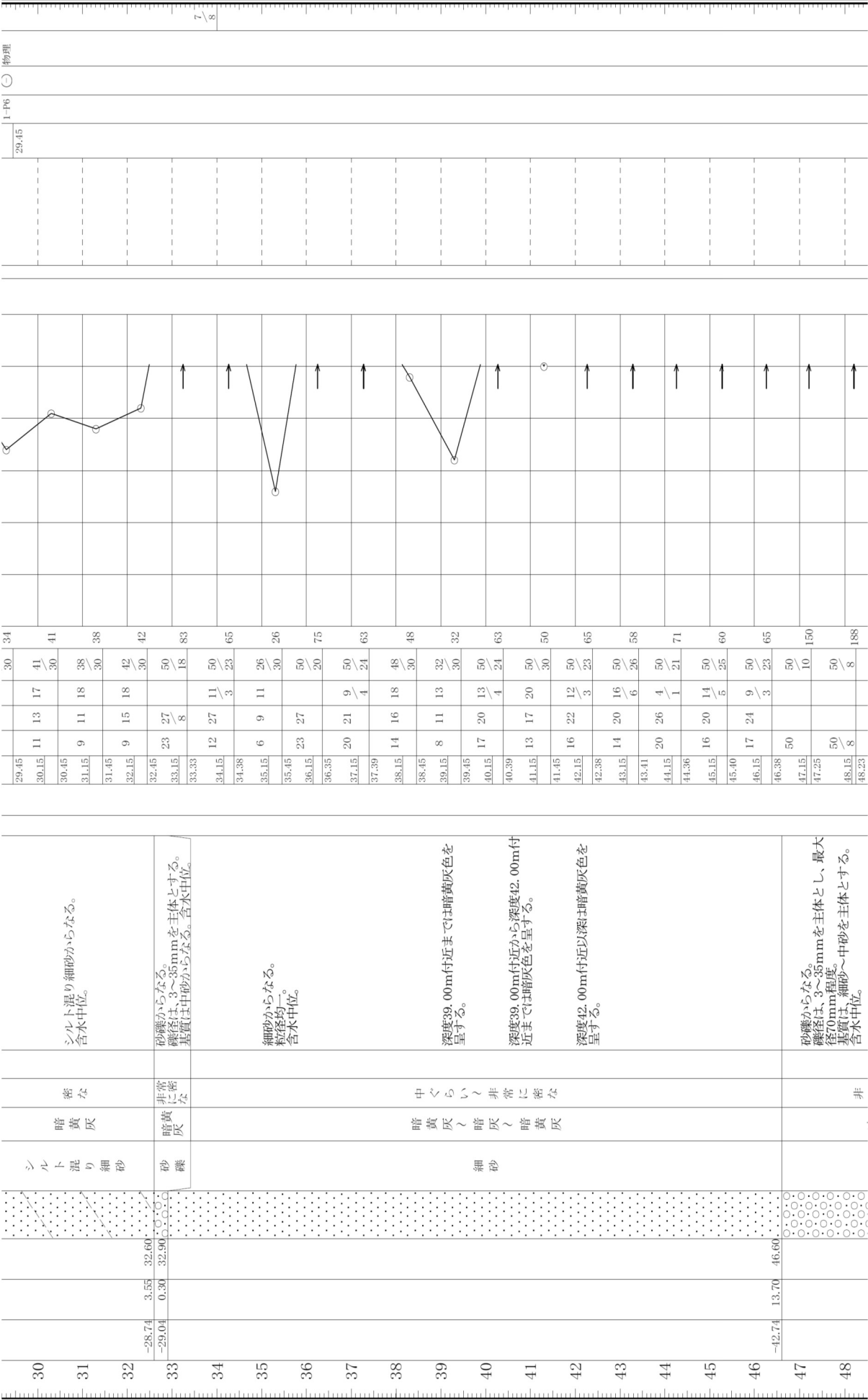


図 8.5-2 (3) ボーリング柱状図（地点①）

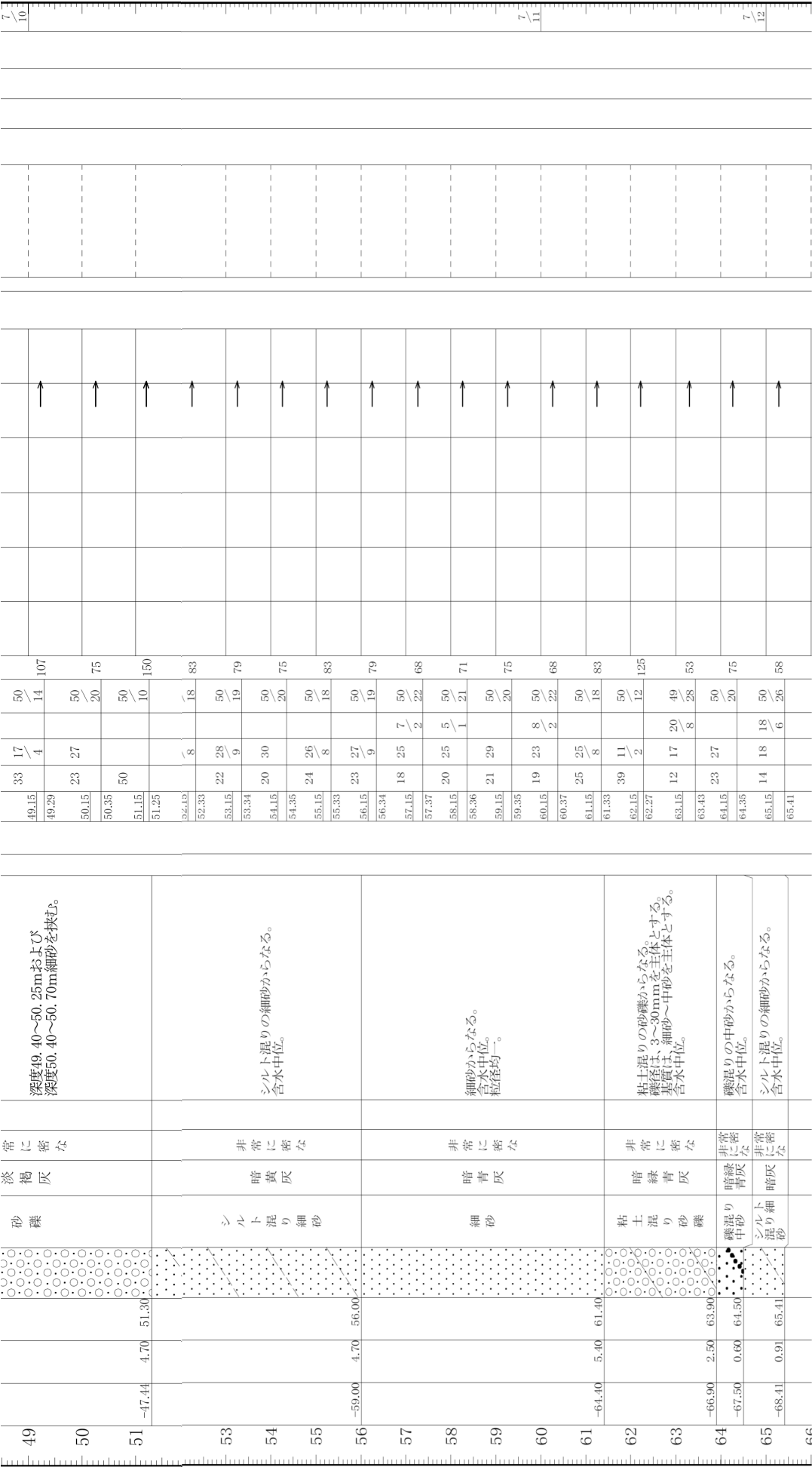


図 8.5-2(4) ボーリング柱状図（地点①）